

令和7年度カウンセリング実践講座実施要項

1 目的

今日の多様化した生徒一人一人の支援に資する生徒理解と個別指導の充実を図るため、教師の教育相談（カウンセリング）に関する資質向上を図るとともに学校における組織的な教育相談体制を構築する必要がある。

各学校における教育相談（カウンセリング）活動の活性化を図り、日常の相談実践を充実させ、個々の生徒の自己実現を促進するため、より高度な教育相談（カウンセリング）の専門的知識、技法を修得した教師を養成することを目的とする。

2 主 催 沖縄県教育委員会

3 対 象

（１）県立学校及び公立小・中学校の教諭及び養護教諭
（２）教職経験５年以上で教育相談に関心があり、意欲のある者
※中堅教諭等資質向上研修（旧教職１０年経験者研修）等に該当する者は、受講を避けて下さい。
※原則、次年度も現任校で勤務する職員とする。

4 募集人数 県立学校２４人程度、公立小学校１人、公立中学校５人

5 研修期間

令和７年５月２３日（金）～令和８年２月１３日（金）（予定）
原則として毎週金曜日の午後１時～５時に実施する。
ただし、施設利用や講師の事情によっては、日程変更や夏季集中講義もある。

6 講師及び担当講座名（※R7年度の予定）

講師氏名	職 名	所属大学・学部名	担 当 講 座 名
田中 寛二	教 授	琉球大学人文社会学部	カウンセリング特論Ⅰ カウンセリング特論演習
浦崎 武	教 授	琉球大学大学院教育学研究科	特別支援教育論
草野 智洋	准教授	琉球大学人文社会学部	教育臨床心理特論Ⅰ 教育臨床心理特論Ⅰ演習
橋本 光平	講 師	琉球大学人文社会学部	教育臨床心理特論Ⅱ 教育臨床心理特論Ⅱ演習
城間 園子	准教授	琉球大学大学院教育学研究科	教育・発達心理学特論 カウンセリング特論Ⅱ

7 研修（講座）内容

（１）カウンセリング特論Ⅰ

諸パーソナリティー理論や諸カウンセリング理論の根底に流れている基本的な考え方と技法について学習する。特に、カウンセリングの準拠枠、面接の理論と技法、面接の過程等を中心に講義を進めるが、面接時における抵抗、転移、沈黙等の処理についてもふれる。

（２）カウンセリング特論演習

カウンセリングの技法と展開の仕方等について演習をとおして修得する。主に、マイクロカウンセリングを採り入れて演習を行う。

(3) 特別支援教育論

学習面や行動面に著しい困難をもっている児童生徒が、通常の学級の中に約6%いると報告されている（文科省：2006）。学習障害（LD）、注意欠陥／多動性障害（ADHD）、高機能自閉症等について講義や諸検査演習を行う。

(4) 教育臨床心理特論Ⅰ及びⅠ演習

効果的な教育相談を行うため、生徒や家族の訴えを共感的に理解し変容をもたらす方法について、ロゴセラピーと人間性心理学の立場から講義し、実習を行う。

また、教育相談に関わる技能の向上だけでなく、教師自身の自己理解やストレスマネジメントについても取り上げる。

(5) 教育臨床心理特論Ⅱ及びⅡ演習

主要なテーマは行動問題に対する行動的支援である。支援者は、学校において生徒や教師が会う「問題」を、行動主義の観点からどのように理解し、支援することができるのか。講義と演習を通して、基本的な問題把握・行動変容のテクノロジーを獲得することを目指す。

(6) 教育・発達心理学特論

現行指導要領の根幹を成す自己教育力の基礎理論である内発的動機づけや学習の原因帰属、教師と生徒の関係、コンピテンスを育てる教育などについて理解を深めるとともに児童生徒の各発達段階における課題と心理的特性等についても講義を行う。

(7) カウンセリング特論Ⅱ

諸パーソナリティー理論や諸カウンセリング理論の根底に流れている基本的な考え方と技法について学習する。特に、カウンセリングの準拠枠、面接の理論と技法、面接の過程等を中心に講義を進めるが、面接時における抵抗、転移、沈黙等の処理についてもふれる。

8 各講座の実施時間数、回数及び担当講師（全27回（9科目×3回）の講座となります。）
（※R7年度の予定）

講座名	1回当たりの時間数	実施回数	実施時間数	担当講師名
カウンセリング特論Ⅰ	4時間	3回	12時間	田中 寛二
カウンセリング特論演習	4時間	3回	12時間	田中 寛二
特別支援教育論	4時間	3回	12時間	浦崎 武
教育臨床心理特論Ⅰ	4時間	3回	12時間	草野 智洋
教育臨床心理特論Ⅰ演習	4時間	3回	12時間	草野 智洋
教育臨床心理特論Ⅱ	4時間	3回	12時間	橋本 光平
教育臨床心理特論Ⅱ演習	4時間	3回	12時間	橋本 光平
教育・発達心理学特論	4時間	3回	12時間	城間 園子
カウンセリング特論Ⅱ	4時間	3回	12時間	城間 園子

※ 9 各講師の講座担当時間数

(※R7 年度の予定)

講 師 氏 名	担 当 講 座 名	1 回時間数×回数＝担当時間数
田 中 寛二	カウンセリング特論Ⅰ	4 × 3 = 12
	カウンセリング特論演習	4 × 3 = 12
浦 崎 武	特別支援教育論	4 × 3 = 12
草 野 智洋	教育臨床心理特論Ⅰ	4 × 3 = 12
	教育臨床心理特論Ⅰ 演習	4 × 3 = 12
橋 本 光平	教育臨床心理特論Ⅱ	4 × 3 = 12
	教育臨床心理特論Ⅱ 演習	4 × 3 = 12
城 間 園子	教育・発達心理学特論	4 × 3 = 12
	カウンセリング特論Ⅱ	4 × 3 = 12

10 講座日程 (※R7 年度の予定)

回	月	日	曜	講 座 名	回	月	日	曜	講 座 名
1	5	23	金	開講式 カウンセリング特論Ⅰ	16	10	17	金	教育臨床心理特論Ⅱ
					17	10	24	金	教育臨床心理特論Ⅱ
2	5	30	金	カウンセリング特論Ⅰ	18	10	31	金	教育臨床心理特論Ⅱ
3	6	13	金	カウンセリング特論Ⅰ	19	11	7	金	教育臨床心理特論Ⅱ 演習
4	6	20	金	カウンセリング特論演習	20	11	14	金	教育臨床心理特論Ⅱ 演習
5	7	4	金	カウンセリング特論演習	21	11	28	金	教育臨床心理特論Ⅱ 演習
6	7	11	金	カウンセリング特論演習	22	12	5	金	教育・発達心理学特論
7	8	12	火	特別支援教育論	23	12	12	金	教育・発達心理学特論
8	8	13	水	特別支援教育論	24	12	19	金	教育・発達心理学特論
9	8	14	木	特別支援教育論	25	1	23	金	カウンセリング特論Ⅱ
10	8	22	金	教育臨床心理特論Ⅰ	26	1	30	金	カウンセリング特論Ⅱ
11	8	29	金	教育臨床心理特論Ⅰ	27	2	13	金	カウンセリング特論Ⅱ
12	9	12	金	教育臨床心理特論Ⅰ					修了式
13	9	19	金	教育臨床心理特論Ⅰ 演習					
14	9	26	金	教育臨床心理特論Ⅰ 演習					
15	10	3	金	教育臨床心理特論Ⅰ 演習					

11 免許法認定講習について

当講座は、平成19年度より免許法認定講習に該当しない。

12 その他

- ① 学校の教職員用 Open メールアドレスのアカウントを事前に確認し、Office365 の活用方法等を確認しておいてください。(配信の際は Teams で行います。)
- ② 講師、日程等については変更が生じる可能性があります。
日程変更の際は、事前に連絡を差し上げます。
- ③ 変更のある際には事務連絡、講座 Teams にてお知らせいたします。
各自受講前には講座 Teams を開いて、講座の連絡事項のご確認をよろしくお願いします。